

# 市政を問う 一般質問 要旨

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

## QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

- \* 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。
- \* 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



健康チエッカーズ活動促進／積極的にデジタル人材の育成を  
橋本孝二議員  
(市議会公明党)

### 健康チエッカーズ活動を促進し健康に暮らせるまちを

**質問** ①庁内プロジェクトチーム・健康チエッカーズの庁内での課題や連携方法等への見解は。  
②若い世代からの市民意見は。  
**市長** ①部間を超えた事業実施の検討を行うことから、時間をかけて調整する必要があるが、引き続き組織間の連携により、様々な事業を推進していく。  
②現時点で具体的な意見等は聞いていないが、今後、幅広い世代から意見を聞いていく。



### 将来の小平の発展のために市が積極的にデジタル人材の育成を

**質問** ①市のDX推進において、補助金の活用は重要だが見解は。  
②女性やアクティブシニアのデジタル人材育成への取組が重要だが、具体的な取組と見解は。  
**市長** ①国から行政手続のオンライン化、自治体の情報システム標準化・共通化の補助金について詳細が発表されており、活用はDX推進に有効であるため、今後も国や都の動向を注視し具体的な活用を検討していく。  
②現時点において特に具体的な取組の検討はしていないが、今後研究していく。



多文化共生のための情報提供／子どもたちの体験の機会を守る  
石津はるか議員  
(政和会)

### 多文化共生のために、誰一人取り残さない情報提供を

**質問** ①日本語に難しさを感じる外国人の孤立を防ぐことについて、市の見解は。  
②災害時の外国人対応において、市が行う対応フローは。

**市長** ①外国人への正しい情報提供のため多言語や、やさしい日本語で発信等しており多面的アプローチが大切と考えている。  
②災害発生時は、国際交流協会に対して災害時外国人支援センター設置を要請するほか、必要に応じて津田塾大学等との災害協定により語学ボランティア等の派遣を要請するなどしていく。



### 子どもたちのかけがえのない体験の機会を守るために

**質問** ①小学校5年次の宿泊を伴う移動教室が行われていないが、市の見解は。  
②水泳授業で市営プールの使用や企業との連携等への見解は。

**教育長** ①教育的な効果や費用負担の増大等を十分に協議して実現の可能性を見極めていく必要があるため、当面は小学校第6学年での実施を継続していく。  
②プールの維持管理等の負担軽減や、天候等に左右されないなどのメリットがあるが、引率方法や移動に要する時間や経費等の課題もあると捉えている。

**外国人(がいこくじん)にやさしい日本語**

外国人にやさしい日本語とは、外国人にわかりやすくする表現です。

**やさしい日本語とは**  
ふだん使う日本語を簡単な日本語に変えて、外国人にわかりやすくする表現です。

**気をつけるポイント**  
▷ゆっくり、はっきりと話してください  
▷難しい言葉は避け、簡単な言葉で話してください  
▷なるべく一文を短くするように心がけてください  
例 記入してください→かきます  
こちらにおかけください→ここに すわって ください

**ボランティアを募集**  
各施設やイベントなど、さまざまな事業でボランティアの協力を求めています。KIFAの活動に参加してみませんか。ボランティアは随時募集しています。

**小平市国際交流協会**  
開催時間 午前9時～午後5時  
ところ 市議会第2会議室(2階)3号  
受付時間 2～12(22)  
電話 042-341-1211(代) 042-341-9513(代)

やさしい日本語についての市報掲載記事 (市報こだいら令和3年9月5日号8面から抜粋)



自粛、マスク勸奨いつまで続ける後遺症、副反応の相談窓口を  
伊藤 央議員  
(一人会派の会)

### 新型コロナウイルス感染症対策を改めよ

**質問** ①効果などが得られない行動自粛要請をやめるべきでは。  
②児童・生徒の学習、健全な心身の成長のため教育活動はコロナ禍前の状態に戻すべきでは。

**市長** ①都全体での取組が重要である。感染拡大防止のため緊急事態措置等に沿って対応する。  
②引き続き感染状況に応じた予防対策を実施していく。  
③引き続きマスクの適切な着用指導とともに、個々の児童・生徒の事情に応じた配慮を行う。



### 窓口に設置すべきでは

**市長** ①都全体での取組が重要である。感染拡大防止のため緊急事態措置等に沿って対応する。  
②引き続き感染状況に応じた予防対策を実施していく。  
③引き続きマスクの適切な着用指導とともに、個々の児童・生徒の事情に応じた配慮を行う。



通学路の交通安全対策の推進／いきいきと暮らせる街の実現を  
佐藤 徹議員  
(市議会公明党)

### 児童等の命を守る通学路の交通安全対策をさらに進めるべきだ

**質問** ①見通しがよくスピードを落とさず走行する車が多い通学路に、目黒区で実施している、危険スピード落とせの幕を電柱に設置することは、道路幅員の狭い通学路では有効だが見解は。  
②通学路の見守りについて、市内民間事業者との協体制度をさらに進めるべきだが見解は。

**市長** ①近隣市等の設置状況等を調査し、有効性等を研究した上で導入の是非を判断していく。  
②今後、市内民間事業者の協力を得ることについて安全確保の方策の1つとして有効



### 子どもから高齢者までいきいきと暮らせる街の実現を目指して

**質問** 生活支援体制整備事業の中で、地域の仲間と一緒に日光を浴びて、軽度の体操や早口言葉などを織り交ぜて楽しくウォーキングする取組が本市でも始まっているが、効果と課題は。  
**市長** 地域包括支援センターでは、高齢者が歩くことで元気に過ごせるようウォーキングラリーマップを作成し配布している。コロナ禍で、地域の人の健康づくりやフレイル予防に効果があると考えている。課題は高齢者の参加を促す周知方法等である。



HPVワクチン周知と助成、キャッチアップ接種／鷹の台公園  
山岸真知子議員  
(市議会公明党)

### HPVワクチンの周知と費用助成、キャッチアップ接種を

**質問** ①お知らせを送付した令和2年度と、送付しなかった元年度の世代の接種率は。また、そのお知らせの効果は。  
②定期接種期間を過ぎてしまった市民に対するキャッチアップ接種の必要性への見解は。

**市長** ①高校1年生女子の令和2年度接種率は17.1%、元年度は2.6%である。接種率が大幅に上昇し、接種を希望するかの検討等のきっかけとなった。  
②高校2年生以上は任意接種であるため、必要性の判断は保護者や本人に委ねられる。



### 愛される鷹の台公園を目指して

**質問** ①今後の市民との意見交換の手法及びスケジュールは。  
②Park PFI制度等の導入を検討すべきだが、見解は。

**市長** ①令和3年度から状況に応じて、セミナー、ヒアリング、ワークショップなどの手法により、必要な情報提供や意見、要望の把握を行っていく。  
②公園の質の向上等に向けては、民間事業者等との連携が必要であると認識している。令和3年度からの調査、研究を進める中で、民間事業者等との連携の可能性を検討していく。



桜橋周辺と玉川上水の環境整備を／市民を守る防災対策を  
幸田昌之議員  
(市議会公明党)

### 桜橋周辺と玉川上水の環境整備について

**質問** ①桜橋踏切の南西、南東、北東に、歩行者の安全対策としてたまり場が必要だが見解は。  
②市の玉川上水周辺の環境整備に関する見解は。

**市長** ①踏切の南西と南東側は、遮断機等の鉄道施設が設置されており滞留スペースを確保することは難しい状況だが、鉄道事業者に相談していく。また、北東側は東京都に相談していく。  
②玉川上水の緑の保全に向けて東京都等と情報共有しており、今後必要となる要望等を行うほか貴重な地域資源の保全等の



### ため都等と連携する必要がある。市民を守る防災対策を進めるために

**質問** ①災害に瞬時に対応できるように防災センターの設置が必要であり、公共施設マネジメントの中で検討が必要だが見解は。  
②消防団について、職員の見解は。

**市長** ①防災機能に特化した施設を新たに設置する予定はないが、既存施設の更新時に防災力の向上に配慮した検討を進める。  
②消防団は地域防災力の要であり、市と消防団が連携して消防防災活動に当たる上で、消防団への理解は職員も必要である。